

2018年 秋（9月～11月）の天候経過

平成30年12月3日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今秋（9月～11月）の特徴

【多雨・寡照】

9月は秋雨前線が停滞しやすく、曇りや雨の日が多かった。また、日本の南で高気圧が強く、湿った空気が流れ込みやすかったほか、台風第21号や第24号の影響を受けて、大雨となった日があった。9月終わりから10月上旬にかけては、台風第24号と第25号が相次いで日本付近に接近した。台風による暖かい空気の流入とフェーン現象の影響により、6日は三条（新潟県）で日最高気温が10月として歴代全国1位の顕著な高温となった。10月下旬から11月上旬にかけては、寒気の影響で立山（富山県）と白山（石川県）で初冠雪を観測した。その後は、気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かったが、寒気の影響は小さかった。

気温は、10月と11月は高く、3か月平均気温は平年並となった。

降水量は、9月はかなり多く、11月はかなり少なかった。3か月合計の降水量は多かった。

日照時間は、9月はかなり少なく、11月はかなり多かった。3か月合計の日照時間は少なかった。

2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差 階級	+0.5℃ 平年並	-0.3℃ 平年並	+0.7℃ 高い	+1.3℃ 高い
降水量平年比 階級	117% 多い	205% かなり多い	98% 平年並	51% かなり少ない
日照時間平年比 階級	96% 少ない	74% かなり少ない	101% 平年並	121% かなり多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものです。

3. 月別の天候経過

（9月）【台風や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。かなりの多雨、かなりの寡照】

高気圧に覆われて晴れた日もあったが、秋雨前線が停滞しやすく、曇りや雨の日が多かったため、日照時間はかなり少なかった。また、日本の南で高気圧が強く、湿った空気が流れ込みやすかったほか、上旬には台風第21号、下旬には第24号の影響を受けて、大雨となった日があった。9月上旬の降水量はかなり多く、1961年の統計開始以来、2番目に多かった。9月の降水量はかなり多く、1946年の統計開始以来、2番目に多かった。

（10月）【9月終わりから10月上旬にかけて、台風第24号と第25号が相次いで日本付近に接近した。その後は天気は数日の周期で変化した。高温】

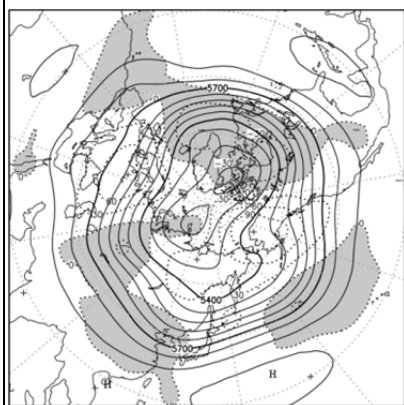
上旬は期間のはじめと終わりは台風や湿った空気の影響で雨の降った日もあったが、期間の中頃は高気圧に覆われて晴れた。本州の南東海上で太平洋高気圧が強いことや相次ぐ台風の通過に伴って暖かい空気が流れ込んだため、上旬の気温は1961年の統計開始以来、3番目の高温となった。特に6日は三条（新潟県）で日最高気温が36.0℃で10月として歴代全国1位の高温となるなど、台風による暖かい空気の流入とフェーン現象の影響で顕著な高温となった。中旬は期間のはじめと終わりは前線や寒気の影響で雨の降った日もあったが、期間の中頃は高気圧に覆われて晴れた日もあった。下旬は期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、前線や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かった。

（11月）【天気は概ね数日の周期で変化した。高温、かなりの少雨、かなりの多照】

気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かったが、寒気の影響が小さかったため、11月の降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった。降水量は1946年の統計開始以来、2番目に少なかった。

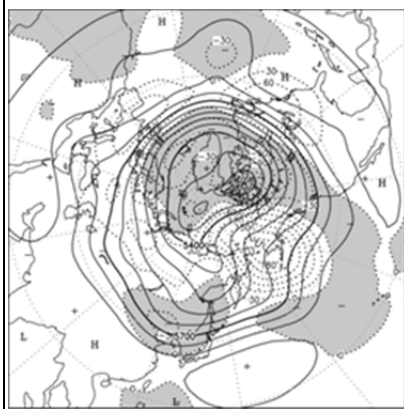
4. 大気の流れから見た今秋の特徴（500hPa 天気図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。



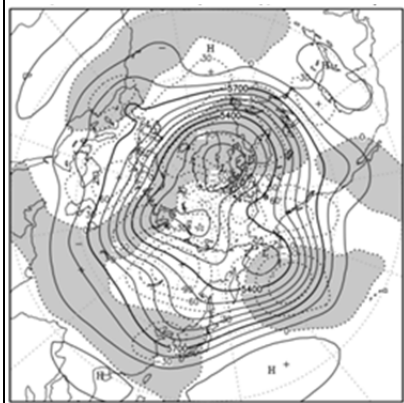
9～11月

ユーラシア大陸の中緯度帯から東シナ海にかけては負偏差が広がり、日本の東は正偏差に覆われた。このため、亜熱帯ジェットは大陸上では平年より南を流れ、本州付近は西南西の流れとなり、湿った空気の影響を受けやすい時期があった。一方、シベリアからオホーツク海付近は正偏差が広がり、寒帯前線ジェットは平年より北を流れたため、北・東日本を中心に寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われやすかった。



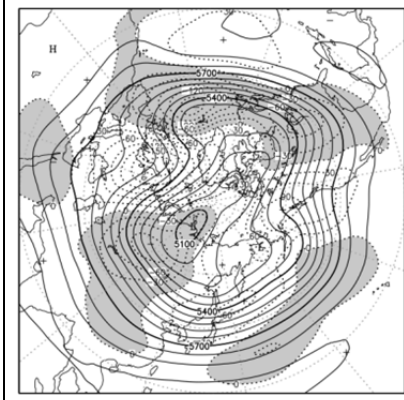
9月

中国東北区付近で偏西風が南に蛇行し、日本の北に寒気が南下した一方、日本の南では亜熱帯高気圧の勢力が強く、南から暖かく湿った空気が流れこみやすかったため、東・西日本では秋雨前線の活動が活発だった。沖縄・奄美では高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。



10月

チベットの西から東シナ海にかけては帯状に高度が低く、上空の偏西風は平年より南よりを流れた。また、東シナ海付近では偏西風が南に蛇行して高度が特に低く、華中から沖縄・奄美付近には北から冷たい空気が流れ込みやすかった。一方、日本の東では偏西風が北に蛇行して高度が高く、北・東日本には南から暖かい空気が流れ込みやすかった。



11月

ユーラシア大陸の中緯度は東西に負偏差が広がり、亜熱帯ジェットは平年より南を流れた。ユーラシア大陸上の高緯度は、正偏差と負偏差が連なり寒帯前線ジェットは蛇行が大きく、日本の北では正偏差が広がり北日本付近では平年より北を流れた。このため、北・東日本を中心に暖かい空気に覆われやすく、低気圧や前線の影響を受けにくかった。

5. 参考資料

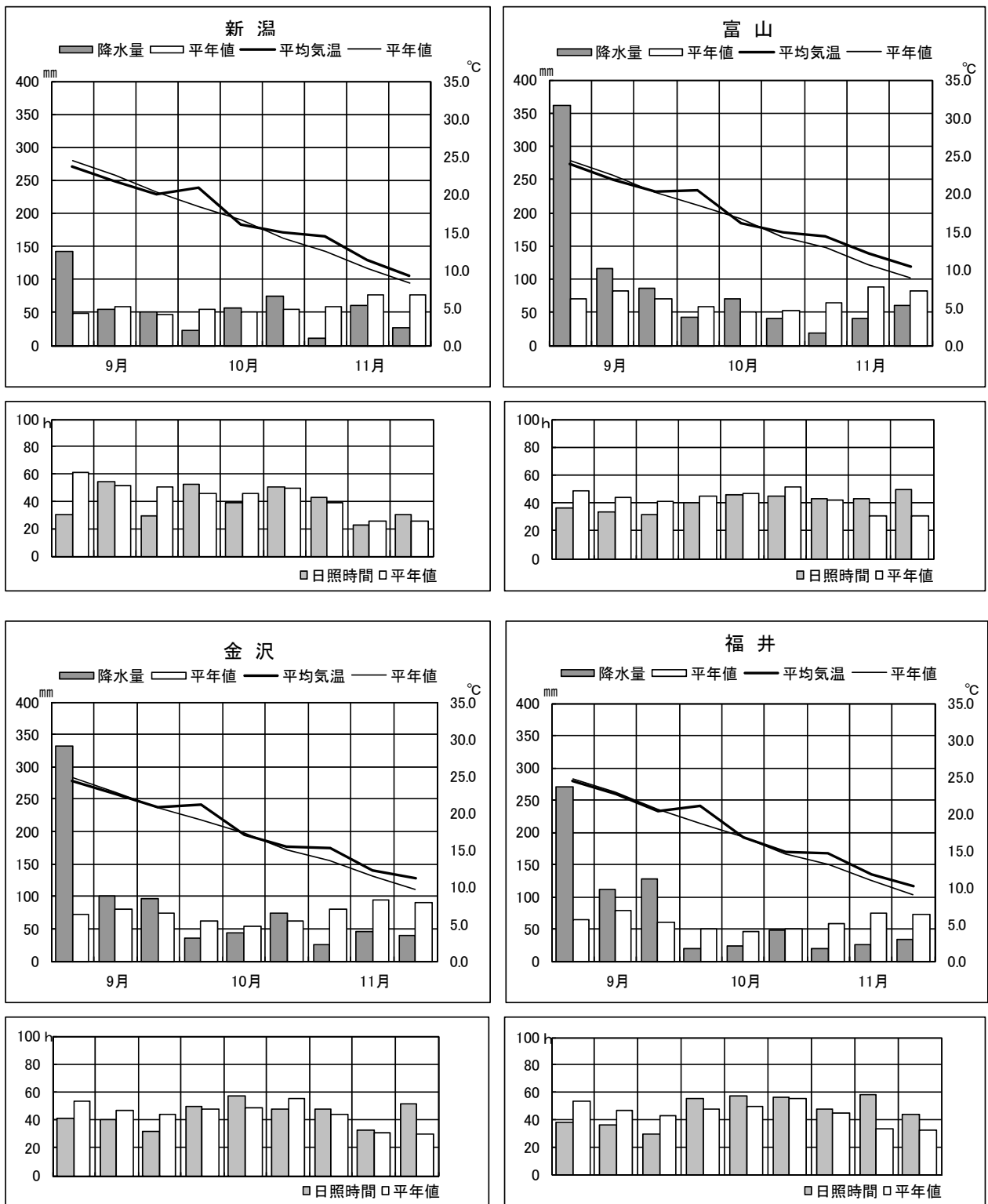


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における9～11月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	9月		10月		11月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	21.8	-0.7 (-)	17.2	+0.9 (+)	11.6	+1.3 (+)	16.9	+0.5 (+)
高田	21.6	-0.4 (0)	16.8	+0.8 (+)	11.3	+1.1 (+)	16.6	+0.5 (+)
相川	21.9	-0.2 (0)	17.6	+0.7 (+)	12.7	+1.1 (+)	17.4	+0.5 (+)
富山	22.0	-0.3 (0)	17.1	+0.7 (+)	12.3	+1.5 (+)	17.1	+0.6 (0)
伏木	22.0	-0.4 (0)	17.0	+0.4 (0)	12.4	+1.5 (+)	17.1	+0.5 (0)
金沢	22.6	-0.1 (0)	17.8	+0.7 (+)	12.9	+1.4 (+)	17.8	+0.7 (+)
輪島	21.6	0.0 (0)	16.4	+0.5 (+)	11.7	+1.2 (+)	16.6	+0.6 (+)
福井	22.5	-0.2 (0)	17.4	+0.8 (+)	12.2	+1.2 (+)	17.4	+0.6 (0)
敦賀	23.2	-0.2 (0)	18.1	+0.5 (0)	13.4	+1.1 (+)	18.2	+0.4 (0)
北陸平均		-0.3 (0)		+0.7 (+)		+1.3 (+)		+0.5 (0)

降水量	9月		10月		11月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	248.5	160 (+)	154.0	96 (0)	97.0	46 (-*)	499.5	95 (0)
高田	308.0	149 (+*)	123.0	58 (-*)	292.5	86 (0)	723.5	95 (0)
相川	209.5	147 (+)	154.0	123 (+)	95.0	61 (-*)	458.5	108 (0)
富山	563.5	256 (+*)	153.0	95 (0)	120.5	51 (-*)	837.0	136 (+*)
伏木	439.0	208 (+*)	173.5	113 (+)	112.5	49 (-*)	725.0	122 (+)
金沢	529.0	235 (+*)	153.5	87 (0)	111.5	42 (-*)	794.0	119 (+)
輪島	405.5	190 (+*)	248.5	159 (+*)	78.5	34 (-*)	732.5	123 (+)
福井	509.5	252 (+*)	91.5	63 (-)	78.5	38 (-*)	679.5	123 (+)
敦賀	465.0	247 (+*)	118.5	88 (0)	93.0	50 (-*)	676.5	133 (+)
北陸平均		205 (+*)		98 (0)		51 (-*)		117 (+)

日照時間	9月		10月		11月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	113.9	70 (-*)	141.6	101 (0)	95.7	106 (0)	351.2	89 (-*)
高田	88.3	68 (-*)	144.8	108 (+)	113.0	109 (+)	346.1	94 (-)
相川	124.8	82 (-*)	152.4	100 (0)	118.7	126 (+*)	395.9	99 (0)
富山	101.4	76 (-*)	130.2	91 (-)	134.6	131 (+*)	366.2	96 (-)
伏木	104.7	76 (-*)	137.8	95 (0)	119.7	120 (+*)	362.2	95 (-)
金沢	111.8	78 (-*)	153.1	102 (0)	130.8	126 (+*)	395.7	99 (0)
輪島	105.2	76 (-*)	148.7	105 (0)	98.4	111 (+)	352.3	96 (-)
福井	102.8	72 (-*)	168.0	111 (+)	149.8	136 (+*)	420.6	104 (+)
敦賀	97.9	70 (-*)	142.3	98 (0)	132.0	124 (+*)	372.2	95 (-)
北陸平均		74 (-*)		101 (0)		121 (+*)		96 (-)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない) , (0) : 平年並 , (+) : 高い (多い)

(-*) : かなり低い (かなり少ない) , (+*) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせませんが、) 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における9～11月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最大（西暦年） mm	統計開始 年	平年値 mm
9	1	富山	563.5	256	481.5（1989）	1939	220.2
9	2	福井	509.5	252	519.5（1989）	1897	202.3
9	3	敦賀	465.0	247	571.2（1965）	1898	188.2

◎月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最小（西暦年） mm	統計開始 年	平年値 mm
11	1	輪島	78.5	34	97.7（1941）	1929	227.9
11	1	金沢	111.5	42	118.7（1954）	1882	264.9
11	2	福井	78.5	38	58.9（1959）	1897	205.3

◎月間日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最大（西暦年） h	統計開始 年	平年値 h
11	2	富山	134.6	131	137.4（1954）	1939	102.8

6. 北陸地方気象官署における寒候期現象（2018年11月30日まで）

表3 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今年	昨年	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	10.21	10.17	10.8	1981.9.14
白山	金沢地方気象台	11.1	10.26	10.17	1913.9.1

表4 初霜・初氷・初雪

※空欄は期間内の観測なし

		初霜			初氷			初雪		
		今年	昨年	平年	今年	昨年	平年	今年	昨年	平年
新潟県	新潟		11.21	11.25		11.22	12.1		11.19	11.24
富山県	富山		11.21	11.20		11.22	11.27		11.19	12.2
石川県	金沢		11.22	12.1		12.9	12.9		11.19	11.29
福井県	福井		11.22	11.24		11.22	12.2		11.24	12.2

7. 天候情報発表状況

9月6日15時00分 長雨に関する北陸地方気象情報 第1号
 9月20日15時00分 長雨と日照不足に関する北陸地方気象情報 第2号

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。